

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	国講キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	都市景観学特論 I			実務経験	○	Active・L ○
科目コード	642451	単位数	2単位	学位授与方針との関連	1. 専門分野に関する知識・技能と教養	
教員氏名	平岡 直樹					
授業概要	本授業の目的は、まず景観に関する概念、用語、考え方などの基礎知識を再確認することである。次に、景観を分析、予測、評価する上で欠かせない手法等を学ぶ。さらには、社会思潮や自然観、環境観の推移と密接な関係を持つ景観の把握手法、操作論の展開を概観する。					
関連する科目	学部の庭園に関わる授業を受講し、しっかりと復習しておくことが望ましい。履修後は、都市景観学特論Ⅱを履修することが望ましい。					
授業の方法と進め方	配布資料等で景観や地域にかかわる基本概念や基本知識を再確認する。必要に応じて学外に出て対象とする景観を構成する現地を視察し、計測や評価を行います。データ等は持ち帰り整理、解析等を行う。ほとんどの授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をするなどアクティブラーニング型の授業を行う。					
授業計画	1 ガイダンス 講義の内容、位置づけ、目的の説明 参考文献の紹介 2 景観に関する基礎的概念 用語としての使い方や類似した用語の整理 3 人の視知覚能力と景観 景観を成り立たせる基盤となる人間の持った視知覚能力の確認 4 景観の種類と工学的把握 景観操作に関わる基礎的概念の確認 5 景観の美しさの意味 人が美しいと感じる基本的要因を確認 6 認知科学的アプローチ① 基礎的概念の確認 7 認知科学的アプローチ② 景観とのかかわりを考察 8 認知科学的景観の美 動物や人間のもつ性質から景観の特質を考察 9 景観分析の基本的指標 景観分析に使用される指標の考察 10 森林景観とフォレストスケープ 経済林的視点から環境や景観への視座の変換を考察 11 色彩 色の関わる基礎的概念を考察 12 景観の法制度 都市景観、自然景観、歴史景観に分けて法制度を考察 13 景観の基礎的調査+分析の事例① 庭園の景観分析の事例を考察 14 場所の記憶を活かした景観づくり+分析の事例② 河川の景観分析の事例を考察 15 都市街路景観+分析の事例③ 都市の景観分析の事例を考察					
授業の達成目標	1) 授業を通じて、景観についての幅広い知識を身に付ける。 2) 空間を把握し、計画する上で不可欠な素養を高める。					
授業時間外の学修	第1回目の授業で示す参考図書など、主に基礎的な都市論や地域論、景観論に関する資料を授業前に読んでおく。授業後に理解が曖昧な時は再度精読する。また、自らの都市や地域、景観についての知見を深め、景観の社会的意義を理解するために、身近な都市や村落、自然地に赴き、その成り立ちや社会的位置づけなどについて考察を深めておく。予習復習4時間程度必要である。					
課題に対するフィードバック	課題等は確認した後に返却する。必要に応じてコメントする。	評価方法・基準		受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーションなどについて総合評価する。		
テキスト	関連書籍及び関連論文					
参考書	授業において提示する。主なものを以下に挙げておく。 ①『景観用語事典 増補改訂版』篠原修編・景観デザイン研究会彰国社、2007 ②『景観と意匠の歴史的展開』馬場俊介監修 信山社サイテック (1998)					
備考						